

村瀬次男（九州電力，正員）

村瀬寿男（村瀬土研）

1. 食物の流れ Q_t と流れに生きる種

えさの流れ～生物の種

血液・リンパの流れ～多細胞生物の分化細胞

科学情報の流れ～科学者の学派

支持票の流れ～政治家の派閥

食物の流れ Q_t の安定のために，生き物（種）が存在するのである。

2. 政治家という生き物

政治家の派閥も又種であることを，日本歴史の進化の2 例から示す。

1) かま倉執権政治の確立～政治の高進化

進化の外因＝荘園の発展による Q_t の漸減

老化の種＝貴族

若返りの種＝武士

上陸の種＝北条一族

2) 幕末の長州革命～政治の大進化

進化の外因＝西洋文明の侵入（ Q_t の急増と種の分化あり）

老化の種＝じょうい派武士

若返りの種＝開国派武士

上陸の種＝かつら小五郎隊

長州革命は長州藩の西洋への上陸現象である。この場合免疫（徳川幕府）があるので，進化といつても発ガン＋脱ガンと同様のプロセスを経る。

3. 「種＝河床波」の等価原理から

重力ポテンシャルに対する死のポテンシャルの誕生

距離的時間（寿命）の創造

種の個体が波であり粒であることの認識

以 上